

花袋周辺作家の書簡集一

口 絵

序

目次・凡例

研究編 ..... 小林 一郎 1

田山花袋宛 江見水蔭書簡 ..... 3

無名の花袋を支えた小説家・江見水蔭 ..... 5

1 花袋の入門と交友の深まり ..... 5

2 片瀬、神戸への転居 ..... 45

3 水蔭・花袋の分岐点 ..... 54

4 年代不詳の書簡 ..... 68

田山花袋宛 高瀬文淵書簡 ..... 77

無名の花袋を支えた評論家・高瀬文淵 ..... 79

花袋との出会いと「小核織」の発行	79
2 兄の死と「新文壇」の発行	103
3 文潤と花袋の歧路	109
4 晩年の文潤	111
田山花袋宛 松浦辰男書簡	115
無名の花袋を支えた歌人・松浦辰男	117
1 『芳宜の下葉』の刊行と日光訪問	117
2 『萩の古枝』の刊行と花袋の白露戦争従軍	123
3 晩年の松浦と『松楓集』の刊行	129
田山花袋宛 太田玉茗書簡	135
花袋を支えた義兄・太田玉茗	137
1 新体詩創作期の玉茗	137
2 一身田への赴任	146
3 建福寺着任後の玉茗	155
4 年代不詳の書簡	176
田山花袋宛 国木田独歩書簡	183
同伴作家・国木田独歩	185
1 二人の日光滞在と『抒情詩』の刊行	185
2 執筆活動期の独歩	193
3 闘病生活と妻の書簡	201
田山花袋宛 川上眉山書簡	213
無名の花袋を支えた小説家・川上眉山	215
1 花袋との出会い	215
2 結婚後の生活と死	217
田山花袋宛 小栗風葉書簡	227
同伴作家・小栗風葉	229
1 自然主義文学への目覚め	229
2 戸塚への転居と風葉・花袋の分岐点	245
3 豊橋隠退後の風葉	249
4 年代不詳の書簡	254
田山花袋宛 近松秋江書簡	259
花袋に親炙した作家・近松秋江	261
1 大貫ますとの出会いと別れ	261
2 関西への隠退	268
3 結婚後の秋江	278
4 年代不詳の書簡	288
まとめにかえて	293

資料編

資料編	299
A 江見水蔭書簡(田山花袋宛)	301
B 高瀬文淵書簡(田山花袋宛)	328
C 松浦辰男書簡(田山花袋宛)	339
D 太田玉茗書簡(田山花袋宛)	346
E 国木田独歩書簡(田山花袋宛)	367
F 川上眉山書簡(田山花袋宛)	382
G 小栗風葉書簡(田山花袋宛)	385
H 近松秋江書簡(田山花袋宛)	395
花袋周辺作家書簡一覧表	413
花袋周辺作家書簡関連年譜	431
執筆者略歴	461
解説調査・編集組織ならびに協力者・協力機関	464
あとがき	466